

第13章 工場会計の独立

学習の要点

1. 工場会計を本社のそれから切りはなして、独立の会計単位とすることを、工場会計の独立という。
2. 工場会計を独立させた場合、各取引は次のように処理する。
 - (1) 工場だけに関係のある取引は、工場の帳簿組織の中で処理する。
 - (2) 本社だけに関係のある取引は、本社の帳簿組織の中で処理する。
 - (3) 本社・工場の双方に関係のある取引は、双方の帳簿組織を連絡するために、本社に工場勘定（または工場元帳勘定）、工場に本社勘定（または本社元帳勘定）を設ける。
したがって、仕訳の相手勘定は

{	本社は → 工場勘定（工場元帳勘定）	となる。
	工場は → 本社勘定（本社元帳勘定）	
3. 本社と工場がそれぞれ独立して決算を行い、それぞれの財務諸表を合併するときは、未達事項を整理し、内部利益を控除しなければならない。合併の手続きは、基本的には商業簿記の本支店会計の合併と同様である。
4. 製造原価報告書は、1会計期間の製品製造原価の内訳明細を報告するものである。

●メモ●

演習コーナー

問題40

1. 工場会計を独立させ、次の諸勘定を工場元帳へ移した。本社と、工場の仕訳を示しましょう。

材 料 ¥80,000 仕 掛 品 ¥160,000 製 品 ¥250,000

2. 工場会計が独立している場合、つぎの取引について本社と、工場の仕訳を示しましょう。なお、いずれか一方にのみ関係する取引の場合は、「仕訳なし」と表示することとします。

(1) 本社は材料¥800,000を掛で買い入れ、これを工場に引き渡した。

(2) 本社は買掛金¥1,200,000を小切手を振出して支払った。

(3) 工場における当期材料消費高は次のとおりである。

直接材料 ¥450,000 間接材料 ¥60,000

(4) 本社は当月分の業務費（本社分および工場分）を小切手を振出して支払った。なお、工場はその旨の報告を受けた。

① 支給総額 ¥900,000

 差引 所得 税 ¥ 70,000

 健康保健料 ¥ 10,000

② 支給総額内訳 本社 給料 ¥200,000

 工場 賃金 ¥600,000

 工場 給料 ¥100,000

（所得税預り金勘定および健康保健料勘定は本社元帳にある。）

(5) 本社は経費¥320,000を小切手を振出して支払い、その旨工場に連絡した。

本 社 分 ¥80,000 工 場 分 ¥240,000

(6) 工場における当月労務費消費高は次のとおりである。

直接賃金 ¥880,000 間接賃金 ¥260,000 給 料 ¥120,000

(7) 工場の当月経費消費高は¥300,000である。（製造間接費）

(8) 当月の製造間接費配賦高は¥740,000である。

(9) 当月の完成品製造原価は¥1,500,000である。（製品は本社の指令によって発送する。）

(10) 本社は製品を¥1,800,000で掛売りした。売上品製造原価は¥1,240,000である旨工場から通知があった。

(11) 売上品のうち¥180,000が返品された。この製造原価140,000である。

メモ

演習コーナー

1	本社		
	工場		
2	(1) 本社		
	工場		
	(2) 本社		
	工場		
	(3) 本社		
	工場		
	(4) 本社		
	工場		
	(5) 本社		
	工場		
	(6) 本社		
工場			
(7) 本社			
工場			
(8) 本社			
工場			
(9) 本社			
工場			
(10) 本社			
工場			
(11) 本社			
工場			

[製造原価報告書の様式]

(一 例)

製造原価報告書

自平成×年×月×日 至平成×年×月×日

I 材 料 費		
1. 期首材料棚卸高	×××	
2. 当期材料仕入高	×××	
合 計	×××	
3. 期末材料棚卸高	×××	
当期材料費		×××
II 労 務 費		
1. 基 本 給	×××	
2. 諸手当・福利費	×××	
当期労務費		×××
III 経 費		
1. 電 力 費	×××	
2. 減 価 償 却 費	×××	
3. 修 繕 費	×××	
4. 租 税 公 課	×××	
5. 保 險 料	×××	
6.	×××	
7.	×××	
当期経費		×××
当期総製造費用		×××
期首仕掛品棚卸高		×××
合 計		×××
期首仕掛品棚卸高		×××
当期製品製造原価		×××

(注) なお、次ページのような形式のものもありますので、参照してください。

(一 例)

製造原価報告書

自平成×年×月×日 至平成×年×月×日

I 直接材料費

1. 期首材料棚卸高	×××	
2. 当期材料仕入高	×××	
合 計	<u>×××</u>	
3. 期末材料棚卸高	<u>×××</u>	×××

II 直接労務費

1. 賃 金	×××	
2.	<u>×××</u>	×××

III 製造間接費

1. 間接労務費	×××	
2. 工場消耗品	×××	
3. 減価償却費	×××	
4.	×××	
5.	<u>×××</u>	<u>×××</u>

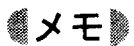
当期総製造費用 ×××

期首仕掛品棚卸高 ×××

合 計 ×××

期末仕掛品棚卸高 ×××

当期製品製造原価 ×××



[製造業における損益計算書の様式]

(一 例)

損 益 計 算 書

A社 自平成×年×月×日 至平成×年×月×日

(単位：円)

I 売 上 高		×××
II 売 上 原 価		
1. 期首製品有高	×××	
2. 当期製品製造原価	×××	
合 計	×××	
3. 期末製品有高	×××	
差 引	×××	
4. 原 価 差 異	()×××	×××
売 上 総 利 益		×××
III 販売費および一般管理費		×××
営 業 利 益		×××
IV 営 業 外 収 益		×××
V 営 業 外 費 用		×××
経 常 利 益		×××

原価差益については差引欄で算出した売上原価に対して加算する場合には(+)控除する場合には(-)の記号を()の内に記入します。

メモ

演習コーナー

問題41

1. 次の資料により次ページの製造原価報告書を作成しましょう。

●棚卸高 :	5月1日	5月31日
原材料	¥ 48,000	¥ 54,000
仕掛品	¥138,000	¥143,000
工場消耗品	¥ 5,000	¥ 6,000

●5月の取引 :

原材料購入高	¥342,000	
直接賃金	5月1日未払額	¥ 13,800
	5月中支払額	¥452,000
	5月31日未払額	¥ 22,000
間接賃金	5月1日未払額	¥ 8,700
	5月中支払額	¥123,000
	5月31日未払額	¥ 6,900
工場消耗品購入高	¥ 33,000	
動費	¥ 56,000	
機械減価償却費	¥ 44,000	

メモ

製造原価報告書

自平成×年5月1日 至平成×年5月31日

I 原材料費

- 1. 月初棚卸高 ()
- 2. 当月購入高 ()
- 合 計 ()
- 3. 月末棚卸高 () ()

II 直接賃金 ()

III 製造間接費

- 1. 間接賃金 ()
- 2. 消耗品費 ()
- 3. 動力費 ()
- 4. 減価償却費 () ()
- 総製造費用 ()
- 月初仕掛品棚卸高 ()
- 合 計 ()
- 月末仕掛品棚卸高 ()
- 当期製品製造原価 ()

